

『自然に親しむ保育を』 ・ あさひ保育園



あさひ保育園は、昭和 48 年、徳田町に開園しました。「あふれる笑顔・今・明日へ・未来へ」の保育の理念のもと、子どもたちは、朝日のように明るく元気いっぱい活動しています。

乳幼児期は、人として豊かに生きる基礎作りと言われています。いろいろな経験を通して、特に自然を活かし、四季折々の草花・木の実・虫・小鳥の声・雨風など五感に響くようなことを楽しんでいます。また、エアロビクスを取り入れて 20 年余り、子どもたちの健全な身体作りに役立っています。子どもにとってを第一に考え、温かな居場所として子どもの目の高さで考えあう保育も大切にしています。

徳田地区では、行事の参加はもちろん小学校へ行ってからも見守っていただきたく、下町のレディースとの交流を続けています。「あやとり」から始まった交流は、「野菜の収穫」「団子作り」「干し柿作り」などと増え、知恵と力を借りながら歩んでいます。子どもたちにとって、地元のことをよく知る機会となっています。

子どもたちの健やかな育ちを願い、家庭と地域と保育園が連携を深めながら、共に育ちあっていきたいと思います。

あさひ保育園長 北川 洋子 (広報とくだ 370号より)